

一 告 白

KIT  
キャンパス  
レポート  
文・出島二郎  
マーケティングプランナー



大矢 翔梧 (おおや しょうご)  
金沢工業大学大学院工学研究科  
情報工学専攻  
博士前期課程二年  
石川県 金沢市立工業高等学校出身

# ぼくは地元志向なんです。 就職もそれを第一にしました。

就職が内定した学生の表情は明るい。大矢さんの第一志望は工作機械メーカー・中村留精密工業のソフトウェア開発部門であった。高校から学んできたプログラミングを活かすことができる。しかも社内にバットゴルフ場もあって親近感が沸き、社員の方々の人柄も良かったからである。

「ぼくは地元が好きです。友人も多し、大学も企業も県外は考えませんでした。ずっと自宅通学だったので、就職したら一人暮らしをしようと思っていて、それが楽しみです。この大学のいいのは課題が多いところ。だからこそ、自分が成長できると思うんです。それに先生に質問しやすい雰囲気があって、授業中でもどこでも話しかけやすいんですよ。」

指導する河並崇准教授の専門は組込みシステムを中心としたITに関する研究だ。金沢工大出身。学内外の展示会やその他のイベントにもよく出展される。学部生十人、院生三人。一人一テーマで各自の興味を重視する研究室だ。「とにかく、いろんなチャンスを与えてくれる先生です。研究テーマは『指さし動作による観光情報提供システムの開発』で、いわゆる博物館などの展示物の紹介システムです。観光向けとして展示物の説明に指さし動作を使うというのは、まだないんです。今は一人だけに紹介するという実装ですが、同時に複数人でも対応できるように改良中です。」

研究の成果は、学内の「ポピュラーミュージックコレクション」と共同でレコードジャケットの新しい紹介方法として全国的な展示会で発表。その結果、石川県内の博物館で活用したいという要望が

あり、後輩が引き継ぐ予定である。また、このシステムは観光地の地図案内などにも応用できるという。「昨年度来た留学生と一緒に英文論文誌に投稿し、採択されました。ぼくは課題でも自分一人であるタイプですが、教えるのは好きですね。人に理解されることがおもしろいし、楽しい。研究室で協力している自治体のキッズプログラミング教室で小学生にプログラミングを教えたり、今も週に一回、TAをやっています。」

大矢さんは入学後、ゴルフ部に所属し、ベストスコアは八十二。キャデイのバイトで人と話すことも好きな方だ。内定のとくに「柔軟性があるって、いろんなことに対応できる」と言われた。その柔軟な発想力で、産業界の課題に挑戦する日々が待っているのである。

**金沢工業大学**  
石川県野々口市原が丘七-1  
電話番号(076)248-1100